

<b>研究テーマ</b> (H25～27)	山梨県固有のデザインソースの編集とアーカイブ構築
<b>研究者名</b> (所属名)	串田賢一・鈴木文晃・佐藤博紀・石田正文（山梨県工業技術センター） 五十嵐哲也・秋本梨恵（山梨県富士工業技術センター）

### 【背景・目的】

中小企業が魅力ある商品開発を行うためには、地域資源の有効活用を図ることがこれまで以上に重要になってきており、より深みのあるコンテンツづくりとその流通に取り組む必要性が高まっている。

本研究は、山梨県内で眠っている地域資源や歴史資源を調査し、中小企業が商品開発に活用することのできるデザインソースとして編集～公開することで、オリジナリティあふれる商品創出に資することを目的として実施した。

### 【研究・成果等】

1. 整備するデザインソースを「形状」「模様」「色彩」「物語」の4つに分類・定義し、対象の有形・無形を問わず取材～編集作業を行った結果、364点のデザインソースを作製し、初年度からの累計を1,621点とした。
2. デザインソースの管理及び一般公開用のメディアとして、スタンドアロン型、Webサイト型の2種の動的データベースを構築した。

#### デザインソース「形状」の作製 [累計120点]

昨年度までに3次元スキャンした土器や生活用具等のデータをインターネットブラウザ上において3D状態で閲覧することができるようWeb3D化した。(図1)



図1 Web3D化されたデータの一例

#### デザインソース「模様」の作製 [累計480点]

昨年度までに作製した染色用型紙、甲斐絹をベースとしたデータの調整を行った。また、新たに、本県で出土した縄文土器の文様のシームレスパターン化に取り組み、10点の文様を作製した。(図2)

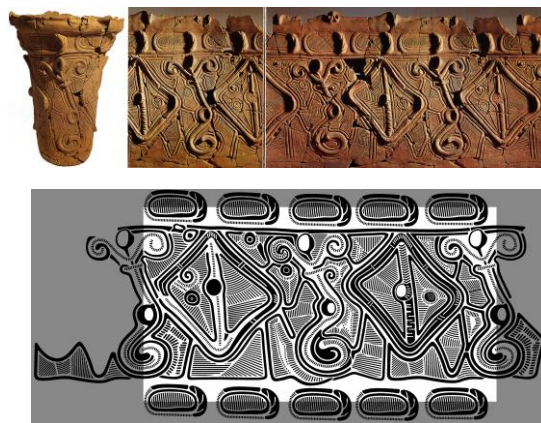


図2 縄文土器からの文様作製の一例

#### デザインソース「色彩」の作製 [累計239点]

北杜市、韮崎市、都留市等、県内17地点において採取した土壌について異物除去等の処理を施し、新たに27色を作製するとともに、分光測色計によりLab値を整備した。(図3) (図4)

#### デザインソース「物語」の作製 [累計782点]

本県に伝わる昔話・伝説を文献調査によりテキストデータ化した。また、併せて、その舞台となった場所や建築物、物品等が特定できたソースについては写真撮影を行い、情報の補完を図った。(図5) (図6)

#### デザインアーカイブの作製 [2種]

デザインソースの蓄積・管理及び一般公開を図るためのシステムとして、スタンドアロン型、Webサイト型の2種の動的データベースを作製した。(図7) (図8)

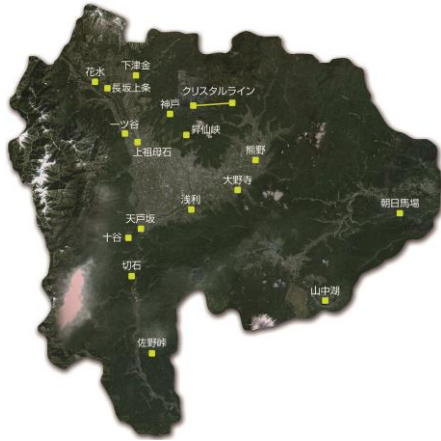


図3 H27年度の土の採取ポイント



図4 作製したカラーサンプル



図5 見神の滝（早川町雨畑）



図6 鼻曲り石（富士河口湖町小立）

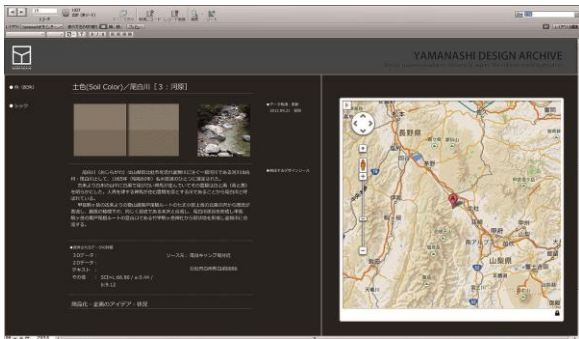


図7 スタンドアロン型アーカイブの画面

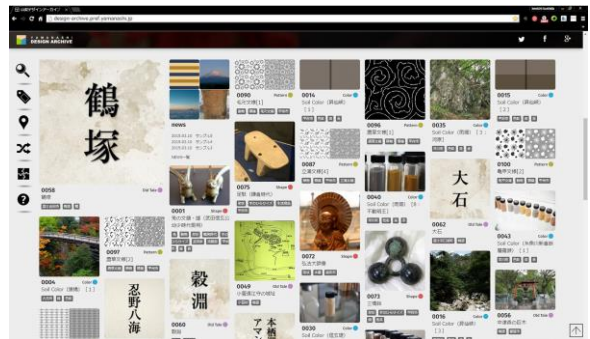


図8 Web型アーカイブのトップ画面

**【成果の応用範囲・留意点】**

- ・ 作製したデザインソースは、デザイン制作や設計を行うアプリケーション上でそのまま利用できるデータとした。
- ・ デザインアーカイブは、端末の別を問わず誰でも閲覧することができるものとした。
- ・ 作製したデザインソースは、宝飾品の形状や織物の色・柄をはじめ、食品、印刷・パッケージ、建築、さらには観光、教育など、様々な分野において活用することができる。

**【問い合わせ先】**

所 属	山梨県工業技術センター	
代表者	主任研究員 串田 賢一	E-mail: kushida-wkp@pref.yamanashi.lg.jp

